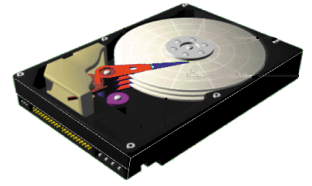


PCデータ消去プログラム

RemoteClear-LP



業界トップクラスの高速消去を実現

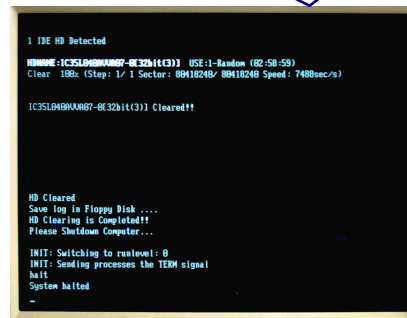
開発背景

パソコン(PC)のリース/レンタル期限切れにともない、PCを返却、廃棄、リサイクルする際に格納されている機密データの存在が問題視されています。Windowsでのデータ書き込み時には、データと共にデータの呼出順序(インデックス)が書き込まれており、記録されたデータの消去はOSの仕様上、完全フォーマットを行ってもインデックスのみが消去されるだけでデータそのものは消去されずに残ってしまいます。その為、市販のデータ復旧ソフトを使用しインデックス部分を復元させることにより、簡単にデータを復元することができてしまうことからHDDデータの完全消去の必要性が唱えられています。RemoteClear-LPはFD格納された消去プログラムをもとにPCデータを安全確実に消去する仕組みです。

RemoteClear-LPの特徴

- ①専用の消去FD作成プログラムにより必要台数分の消去プログラムをいつでも作成できます。
- ②目的に合わせ、種々の国際基準に適合した消去方式と消去レベルの選択が可能です。
- ③消去完了と共にプログラムは使用不可となる仕組みのため安全性が確保されています。更に用済みとなったFDには消去ログを書き出し保存します。
- ④消去時間は業界トップレベルを実現、弊社の従来品と比較して3~4倍のスピード消去が可能ですので大容量のHDDデータでも作業時間を短縮できます。
※消去時間は選択した消去方式やPCのハードウェア環境によって左右されます。
- ⑤消去完了後、消去Logをテキスト形式でFDに書き出します。さらに、指定した消去アルゴリズムで確かに消去終了したのかを確認するため再度HDDを読み、実データを抽出します。結果はバイナリーデータとして取り出すことができます。これらにより消去内容を確認できるだけでなく、詳細な消去証明書を作成することが出来ます。
- ⑥主たる消去ログ項目として、消去方式、PC管理番号、HDDの型名、HDD製造番号を記録しますので、データ消去を行った媒体の特定が出来ることでより消去トレースの信頼性を高めています。
- ⑦プログラムはライセンス制となっています。

消去方式	書き込み回数	書き込みパターン
乱数n回 (n=1~9)	n回	乱数n回
NSA推奨方式	3回	乱数2回→0
米陸軍準拠方式	3回	乱数1回→固定値1→固定値2
米海軍準拠方式	3回	固定値1→固定値2→固定値3→検証
米空軍準拠方式	7回	(0→1)×3回→固定値1→検証
米国防総省準拠方式	3回	固定値1→固定値2→乱数1回→検証
NCSC準拠方式	3回	固定値1→固定値2→固定値3
NCSC準拠方式×2	6回	NCSC準拠方式×2回
ゲートマン推奨方式	35回	乱数4回→固定値1→……→固定値27→乱数4回



40GB HDDデータ消去時間比較

※米海軍準拠方式書き込み[固定値1、固定値2、固定値3、検証]

